

平成17年度 手づくり^{ふるさと}郷土大賞伝達式

日 時：平成17年12月6日（火）14時

場 所：沖縄総合事務局 4階特別会議室

主 催：内閣府沖縄総合事務局

後 援：沖縄建設弘済会

式 次 第

1. 開 会	沖縄総合事務局 企画調整官	14:00
2. 施設紹介	建設行政課長	14:05
3. 認定証授与	沖縄総合事務局次長	14:10
4. 記念品授与	沖縄建設弘済会専務理事	
5. 受賞者挨拶	竹富町長	14:15
6. 主催者挨拶	沖縄総合事務局次長	14:20
7. 写真撮影	受賞者及び事務局一同	14:25
8. 記者懇談会		14:30

司会及び進行
建設行政課長

記者懇談会は30分程度を予定しております。

問い合わせ先

沖縄の事例について

内閣府沖縄総合事務局

開発建設部 前村

直通 098-866-0090 (内線 3130)

全国の事例

国土交通省

総合政策局 事業総括調整官室 堀田

直通 03 - 5 2 5 3 - 8 2 7 1 (内線 2 4 5 1 3)

大臣官房 公共事業調査室 水口

直通 03 - 5 2 5 3 - 8 2 5 8 (内線 2 4 2 9 5)

平成 17 年 11 月 28 日

内閣府沖縄総合事務局

平成 17 年度「手づくり郷土大賞」の選定結果について

「手づくり郷土賞」(以下「賞」という。)は昭和 61 年に創設され、今年度で 20 回目という節目を迎えるにあたり、従来 of 賞に加え、今年度より、過去に受賞してからも永く良質な社会資本として現在も引き続き地域の住民に親しまれ、積極的に維持、活用される等、地域に定着し個性的で魅力的な地域の実現に寄与しているものを対象として、「手づくり郷土賞(大賞部門)」(以下「大賞」という。)を設けました。

沖縄からは、昭和 61 年に賞を受賞した「竹富島家並み」が高く評価され、大賞に選定されました。

選定された竹富町には、国土交通大臣認定証及び記念品を「手づくり郷土大賞伝達式」(平成 17 年 12 月 6 日開催)において授与します。

なお、全国で賞に 33 件、大賞に 78 件が応募の応募があり、「手づくり郷土賞選定委員会」において、賞に 20 件、大賞に 37 件が選定されました。

「竹富島の家並み」の概要(別紙 1)

「全体講評」「代表事例概要」(別紙 2)

「選定結果一覧」(別紙 3)

1 「手づくり郷土賞」とは

地域の個性、魅力、活力を創出している良質な各種の社会資本や活動を広く発掘・紹介することにより、社会資本整備にあたっての創意・工夫を促し、個性あふれ活力のある地域づくりの一助とすることを目的に、昭和61年から実施されてきた国土交通大臣表彰の制度です。

2 「手づくり郷土賞（大賞部門）」について

今年度より新設された、「手づくり郷土賞（大賞部門）」は、昭和61年度から平成2年度に「手づくり郷土賞」を受賞している社会資本で、現在も地域活動が一体的に行われ、地域づくりに貢献しているものの中から選定されました。

3 選定について

市町村または活動団体より応募された物件を、沖縄県で受け付け、沖縄総合事務局でとりまとめるうえ、「手づくり郷土賞」選定委員会の厳正な審査を経て選定されました。

「手づくり郷土賞」選定委員会

委員長	鈴木 道雄	全国建設弘済協議会会長
委員	酒井 孝	(社)雪センター理事長
	金澤 寛	(財)港湾空間高度化環境研究センター理事長
	高橋 潤二郎	慶応義塾大学名誉教授
	田村 美幸	公共の色彩を考える会会長
	中村 良夫	東京工業大学名誉教授
	西村 幸夫	東京大学教授
	藤吉 洋一郎	大妻女子大学教授
	藤原 まり子	(株)博報堂生活総合研究所客員研究員
	竹歳 誠	国土交通省総合政策局長

4 選定物件の紹介について

選定された物件は、冊子に取りまとめる他、地域づくり情報サイト「地域づくり情報局（REPIIS）」に掲載し、広く全国に紹介します。



全景



レンタカーは一切なく、移動は水牛車等により、昔ながらの雰囲気、心を癒すことができる。

沖縄の原風景を今も色濃く残しており、地域で竹富島憲章を制定し伝統的建造物群を守り育て、観光に活用しています。

年度別入域観光客数

観光客数

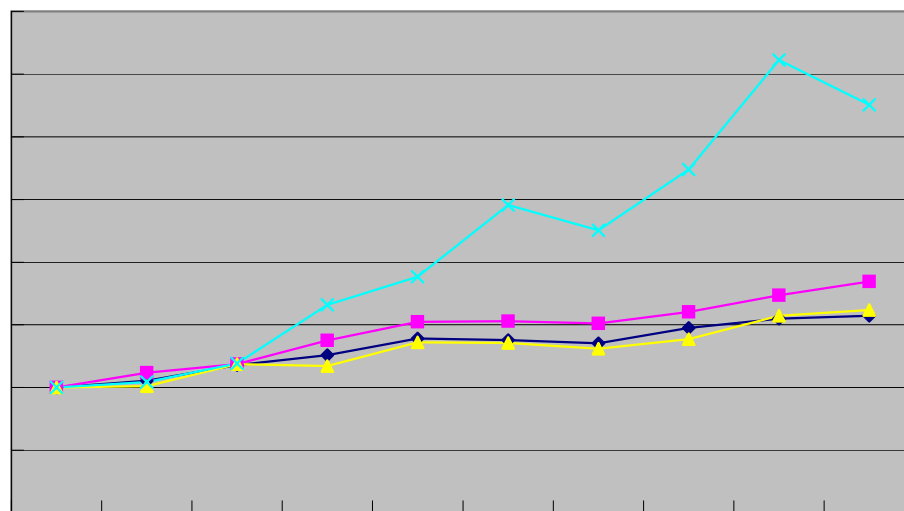
年度	区分	沖縄県	宮古島	石垣島	竹富島
H7		3,278,900	212,403	442,140	109,269
H8		3,459,500	237,258	447,140	114,073
H9		3,867,200	252,147	524,824	130,260
H10		4,126,500	292,231	517,908	181,405
H11		4,558,700	323,726	602,027	205,745
H12		4,521,200	324,803	599,343	268,289
H13		4,433,400	320,837	578,978	246,265
H14		4,834,500	340,492	613,362	299,232
H15		5,084,700	368,902	695,681	394,581
H16		5,153,200	392,140	715,777	355,565

伸び

年次	月	沖縄県	宮古島	石垣島	竹富島
H7		1.00	1.00	1.00	1.00
H8		1.06	1.12	1.01	1.04
H9		1.18	1.19	1.19	1.19
H10		1.26	1.38	1.17	1.66
H11		1.39	1.52	1.36	1.88
H12		1.38	1.53	1.36	2.46
H13		1.35	1.51	1.31	2.25
H14		1.47	1.60	1.39	2.74
H15		1.55	1.74	1.57	3.61
H16		1.57	1.85	1.62	3.25

H7年度を1としたときの入域観光客数の伸び

(倍)
4.00
3.50
3.00
2.50
2.00
1.50
1.00
0.50
0.00



H7 H8 H9 H10 H11 H12 H13 H14 H15 H16
(年度)

◆ 沖縄県
■ 宮古島
▲ 石垣島
× 竹富島

竹富島 3.25倍 (355,565人) (H16年度)

宮古島 1.85倍 (392,150人) (H16年度)

石垣島 1.62倍 (715,777人) (H16年度)

沖縄県 1.57倍 (5,153,200人) (H16年度)

全 体 講 評

「手づくり郷土賞」は、地域の個性、魅力、活力を創出している各種の良質な社会資本を広く発掘し、これを紹介することによって地域づくりの一助とすることを目的に昭和61年度から実施しており、今回で20回目を迎えました。

今年度からは、過去に「手づくり郷土賞」を受賞した後も永く良質な社会資本と認められ、現在も積極的に維持・活用されるなど、地域に定着しているものを対象とする『大賞部門』を新たに設けました。これにより、従前より実施してきた『地域整備部門』及び『地域活動部門』と併せ、3部門になりました。

この20年間を総括すると、創設当初に比べ、応募案件の多くが住民自ら考え、判断して、行動するという構図のもとに行われており、参加と連携によるふるさとづくりが各地に定着してきたのではないかと考えるところです。

さて、今年度の応募案件をみると、以下のようなことが言えます。

まず、『地域整備部門』では、計画段階から住民、企業、行政など多様な主体が連携をし、周辺の自然環境や景観に配慮をしながら、中心市街地の活性化などの個別の課題に取り組んでいる事例が見られるようになってきています。これらの事例では、住民と行政が一体となって地域に根ざした社会資本の整備をし、それを活用していこうという意識の高まりが強く感じられました。

次に『地域活動部門』では、近年の自然環境に対する意識の高まりともあいまって、住民による植栽や清掃などの取り組みが多くなっています。また、歴史的、文化的な資産を活用した地域振興の取り組みや、中心市街地の活性化のための活動など、住民が地域の特色をしっかりと見据えながら、自ら参画、活動している事例が多く見受けられました。

最後に『大賞部門』では、今年度は、昭和61年度～平成2年度に「手づくり郷土賞」を受賞したものを対象として公募しました。いずれの応募物件も受賞から15年以上という長い期間が経過しているにもかかわらず、それぞれの活動団体の創意工夫をこらした継続的な活動により、個性的で魅力あふれるふるさとの創出に大きく貢献していました。

全体を通して、住民と行政の協働により地域の個性や魅力が創出されており、このような取り組みが全国的な展開を見るに至ったことは、「手づくり郷土賞」の意図していたことが定着した証左とも思えます。

また、受賞後10年以上を経ても地域に愛され、利活用されている社会資本が相当数に上ることは、これらの取り組みが時間を乗り越えて生きていることを実感させるものです。

今後多くの活動主体が地域の整備に関わり、愛着を持って社会資本を活用することにより、コミュニティが活性化し、個性的で魅力ある地域がより一層増えてゆくことを期待します。

代 表 事 例 概 要

< 地域整備部門 >

「旭川市旭山動物園」 （北海道 旭川市）

旭山動物園では、年間入場者数が 26 万人にまで落ち込んだ 1996 年以来、動物園の再生に向けてスタッフがアイデアを出し合い、動物の持っている本来の能力を見せる「行動展示」手法を用いた展示施設の整備を始めた。加えて飼育スタッフの手づくりの看板、イラスト作成、蓄積した飼育ノウハウを活かした飼育体験や教育ガイド、野鳥観察会など教育プログラムの充実などソフト面での工夫により魅力が高まった。その結果、平成 16 年度の 7,8 月の月間入園者数は日本一を記録し話題となり、その年の入園者数も 145 万人に達し、地域全体のシンボルとして多くの人に利用されるようになった。

また、動物園に関心を寄せる市民有志が集まり設立された「NPO 法人旭山動物園くらぶ」や「読み聞かせの会」などと連携し、地域の理解と協力を得ながら、さらなる動物園の魅力づくりが進められている。

「三島市街中がせせらぎ事業」 （静岡県 三島市）

街中がせせらぎ事業は、中心市街地にある水辺や緑の自然空間や歴史・文化資源を活用し、それをネットワーク化した回遊ルートを整備することによって、快適な空間を創り上げ、「歩きたい街」、「住みたい街」を市民や企業、NPO が役割分担を持って協働でつくっている。

本事業では、官民の協働が計画策定に留まらず、市民主導の計画策定の成果として、市民自らが行動していく活動（環境改善活動、清掃活動、イベント等）が多く見受けられる。

この結果、市民の憩いの場、自然学習の場としての利用に加え、イベントが多く開催されるようになり、観光客も整備前に比べて約 8 倍に増加するなど、地域の活性化に貢献している。

<地域活動部門>

「1級河川寝屋川の再生と市民活動・まちづくり」

(寝屋川再生ワークショップ・ねや川水辺クラブ/大阪府 寝屋川市)

コンクリートと矢板、フェンスで囲まれ、忘れ去られた川寝屋川を市のシンボルにふさわしく、自然豊かで市民が憩える魅力ある空間に再生するため、市の公募による61名の委員から組織されるワークショップにより「寝屋川再生プラン」がとりまとめられた。このワークショップでは、寝屋川の整備にとどまらず、川を活かしたまちづくり(案)を提案し、市民や関係機関にアピールした。

また、委員自らが多くの広く市民に呼びかけ、自主組織「ねや川水辺クラブ」を結成し、クリーンリバー作戦を始めとする市民参加の様々な活動を展開している。これら計画立案から工事・維持管理・評価に至るあらゆる段階での市民の参画は、議論や共同作業を通じて地域の連帯感を生み、寝屋川を市のシンボルにふさわしい川に押し上げるとともに、地域の再生に寄与している。

「地域通貨「フシノ」を活用した流域連携づくり」

(榎野川の源流を守る会/山口県 山口市)

榎野川流域の住民が連携を図り、この流域の豊かな自然を次世代に引き継いでいくことを目的として、地域通貨「フシノ」を活用して、河川・海岸清掃作業等のボランティア活動の人的交流、地域間交流の輪を広げている。「フシノ」はボランティア活動参加者に、榎野川流域地域通貨検討協議会より配布され、その「フシノ」により、協力店でサービスが受けられるという仕組みになっており、「フシノ」を媒体とし、環境保全活動、人の交流や物の循環が進められている。平成15年度より、「フシノ」モデル実験が開始され、当初は4店舗だった協力店が、現在は38店舗に増加し、ボランティア活動参加者も増え、「フシノ」の発行額は180万フシノ(180万円)を越えており、そのプロジェクトがさらなる村づくり、地域の活性化に貢献している。

今後、地域通貨「フシノ」の流通状況を分析することで、交流を推進する為に何が必要か明らかになってくると思われるので、今までの取り組みのフォローアップ等を十分行うことにより、さらなる飛躍を期待したい。

<大賞部門>

「武家屋敷」 （秋田県 仙北市）

角館町は、角館城の城下町として栄え、今もその面影を色濃くとどめた街並みが残されており、重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

住民が、この街並みを町全体の財産として誇りを持ち、また、連携を深めることを目的に初期消火活動の「北部地域自主防災会」を発足させ、貴重な文化財の保護に努めている。さらに、観光客に武家屋敷の歴史と文化をもっと広く知ってもらうため「かくのだて歴史案内人組合」が結成され、町の魅力向上に努めた結果、手づくり郷土賞受賞当時約 130 万人だった観光客が、平成 15 年度には、約 250 万人に増加している。

「小野川周辺の町並」 （千葉県 佐原市）

市と県により先導的に行われた小野川兩岸の道路のガードレールの擬木化や景観に配慮した街路灯の整備、川からの荷揚げ場である「だし」の復元等の景観整備や昭和 62 年の手づくり郷土賞の受賞がきっかけとなり、小野川とその周辺に残る歴史的町並みが、地域住民の貴重な財産であることが再認識されていった。

この結果誕生した住民団体の「小野川と佐原の町並みを考える会」が町並みの素晴らしさと保存の大切さを訴え続け、町並み保存条例（平成 6 年度）重要建造物群保存地区の選定（平成 8 年度）へとつながっていった。また、この間に発足した「観光ボランティアの会」による町並み観光案内は、佐原の名物になりつつあり、観光客は平成 16 年度には約 36 万人に達している。

「小松川境川親水公園」 （東京都 江戸川区）

小松川境川親水公園は、江戸川区の中心部を流れていた排水路が不要となったのを契機に、新中川からの取水を浄化し、清流を蘇らせたものである。隣接する公共施設、近隣公園と一体的な緑化整備が図られ、水遊びの拠点として、川原、階段護岸などを設置、水と緑の四季の変化に富んだ自然景観が創造されている。

設計当初から各種住民団体が参加し、完成後は地域の自治会、子供会が主体となって「小松川境川親水公園を愛する会」が誕生し、祭りや清掃活動を実施するなど地域住民に愛され、人々の安らぎ、ふれあいの場となっている。

「竹富町家並」 （沖縄県 竹富町）

竹富島は、石垣島の南西に位置する小島で、赤瓦の屋根、家々を囲む石垣、白く整然とした道、緑の木々など昔ながらの沖縄の姿をとどめている。

竹富島の集落は住民が守り育ててきた素朴な石垣の芸術であり、伝統文化や自然環境に対する住民の意識は非常に高く、昭和 61 年度には「竹富島憲章」を制定し、それに基づいて現在に至るまで、毎日朝夕に道路の清掃、除草、花木の手入れを行っている。また、昭和 62 年には、重要伝統的建造物群保存地区にも指定され、住民、行政が一体となって集落の良好な景観を保っている。さらには、観光資源として、手づくり郷土賞受賞当時の昭和 61 年度では約 9 万人だった観光客が、平成 16 年度では約 36 万人に増加している。

平成17年度「手づくり郷土賞」選定結果一覧

地域整備部門 8件

ブロック	都道府県	市町村	応募社会資本名
北海道	北海道	あさひかわ 旭川市	あさひかわしあさひやまどうぶつえん 旭川市旭山動物園
東北	山形県	かみのやま 上市市	ぶけやしきとおせいびじぎょう 武家屋敷通り整備事業
関東	東京都	えどがわ 江戸川区	いちのえ 一之江ひだまり公園
中部	静岡県	みしま 三島市	みしましまちじゅう 三島市街中がせせらぎ事業
中部	愛知県	おかざき 岡崎市	あたら 新しい公園づくりのカタチ「なのはな公園」
中国	山口県	うべ 宇部市	ちゅうおうちようさんちようめちく 中央町三丁目地区まちなか再生事業
中国	山口県	はぎ 萩市	はぎはくぶつかん 萩博物館
九州	大分県	ひた 日田市	しんすいしせつ だいむ せ 親水施設 台霧の瀬

地域活動部門 12件

ブロック	都道府県	市町村	活動の名称	活動主体名
北海道	北海道	ニセコ町	はな ニセコ花フェスタ綺羅街道	ニセコ21世紀まちづくり実行委員会
東北	福島県	たていわむら 舘岩村	はな おやど さと 花の御宿の里づくり	たていわむらす 舘岩村住まいづくり研究会
関東	茨城県	ひたち 日立市	じゅうみんはつあん 住民発案による公園の管理と希 うたんすいぎよ 少淡水魚「イトヨ」の保護	イトヨの里泉が森公園運営委員会
関東	千葉県	ちようせいむら 長生村	うつく みずべ かいるう 美しい水辺の回廊づくり	おおぜきせきか んりうえいくみあい 大関堰管理運営組合
中部	岐阜県	なかつがわ 中津川市	じゅうみんそうで はな 住民総出の花づくり	か し も はな 加子母花づくり会議
中部	愛知県	しんしる 新城市	「やすらぎの 心が通う 四季 のまち」づくり活動	しんまちちく 新町地区まちづくり協議会
近畿	大阪府	ねやがわ 寝屋川市	きゅうかせんねやがわ 1級河川寝屋川の再生と市民活 動・まちづくり	ねやがわさいせい 寝屋川再生ワークショップ・ねや川 みずべ 水辺クラブ
中国	山口県	やまくち 山口市	ちいきつうか 地域通貨「フシノ」を活用した りゅういきれんけい 流域連携づくり	ふしのがわ げんりゅう まも かい 榎野川の源流を守る会
四国	徳島	とくしま 徳島市	かわ い 川を活かした魅力的なまちづく りを目指して	ほうじん しんまちがわ まも かい NPO法人 新町川を守る会
四国	徳島	あなん 阿南市	あなんひかり 阿南光のまちづくり事業	あなんひかり 阿南光のまちづくり協議会
九州	福岡県	はくおか 福岡市	はかたわん 博多湾にみんなで夢の松原を！	ほうじん NPO法人 はかた夢松原の会
九州	熊本県	にしはらむら 西原村	どうろせいそう 道路清掃による村づくり	にしはらむらどうろ あいごかい 西原村道路愛護会

大賞部門 37件

ブロック	都道府県	市町村	応募社会資本名
北海道	北海道	あぶたちょう 虻田町	こほんどお 湖畔通り
北海道	北海道	きょうごくちょう 京極町	ふきだしこうえん ふきだし公園
東北	青森県	くろいし 黒石市	こみせ
東北	秋田県	せんぼく 仙北市	ぶげやしき 武家屋敷
東北	山形県	かみのやま 上山市	ならげしゆく 檜下宿
東北	福島県	しもごうまち 下郷町	おおうちじゆく 大内宿
関東	栃木県	とちぎ 栃木市	うずまがわえんせんやなみ 巴波川沿川家並
関東	栃木県	あしかが 足利市	あしかががっこう 足利学校・ばんな寺参道のまちなみ しゅうけい
関東	群馬県	まえばし 前橋市	ひろせがわかはんりょくちりよくどう 広瀬川河畔緑地緑道
関東	千葉県	さわら 佐原市	おのがわしゅうへん 小野川周辺の町並 まちなみ
関東	東京都	あだち 足立区	ぼうさいろじりよくか 防災路地緑化
関東	東京都	えどがわ 江戸川区	こまつがわさかいがわしんすいこうえん 小松川境川親水公園
関東	東京都	ふちゅう 府中市	ふちゅうしきょうど 府中市郷土の森博物館 もりはくぶつかん
関東	東京都	こくぶんじ 国分寺市	たかみちゅうほどう お鷹の道遊歩道
関東	神奈川県	よこはま 横浜市	ライトアップ・ヨコハマ
関東	神奈川県	かわさき 川崎市	にかりょうようすい 二ヶ領用水（宿河原線） しゆくがわらせん
関東	神奈川県	はだの 秦野市	みずなしがわりよくち 水無川緑地
関東	長野県	しおじり 塩尻市	ならいじゆく 奈良井宿の家並み いえな
北陸	新潟県	じょうえつ 上越市	たかだ 高田の雁木 がんぎ
北陸	富山県	たかおか 高岡市	どうき 銅器のまち金屋町通り かなやまちとお
中部	愛知県	とよた 豊田市	しおみち 塩の道・三州足助の町並み さんしゅうあすけ まちな
中部	三重県	かめやま 亀山市	とうかいどうせきじゆく 東海道関宿の町並み まちな
近畿	滋賀県	ながはま 長浜市	なごほうおもとさんどう ながはま御坊表参道 ごほう
近畿	滋賀県	おうみはちまん 近江八幡市	はちまんぼり 八幡堀

大賞部門 37件

ブロック	都道府県	市町村	応募社会資本名
近畿	滋賀県	ひがしあうみ 東近江市	ごかしょうこんどうまち 五個荘金堂町
近畿	滋賀県	たかつきちょう 高月町	あめのもり 雨森
近畿	兵庫県	こうべ 神戸市	きたのちょうやまもとどおり 北野町山本通
中国	鳥取県	くらよし 倉吉市	どぞうづく やなみ 土蔵造りの家並
中国	島根県	つわのちょう 津和野町	はんせいじだい まちなみ 藩政時代の街並
中国	岡山県	おかやま 岡山市	にしがわりよくどうこうえん 西川緑道公園
中国	岡山県	くらしき 倉敷市	くらしきし でんとうてきまちなみ 倉敷市の伝統的街並
中国	広島県	はつかいち 廿日市市	みやりまもみじだにがわていえんさぼう 宮島紅葉谷川庭園砂防
中国	山口県	やまくち 山口市	いち さかがわ ごがん 一の坂川ホテル護岸
四国	徳島県	みま 美馬市	うだつとしろかべ まちなみ うだつと白壁の町並
九州	大分県	たけた 竹田市	とのまちぶけやしきどお 殿町武家屋敷通り
九州	宮崎県	ひゅうが 日向市	みみつ れきしてきまちな 美々津の歴史的町並み
沖縄	沖縄県	たけとみちょう 竹富町	たけとみちょういえなみ 竹富町家並

手づくり郷土賞(地域整備部門)全8件

旭川市旭山動物園(北海道旭川市)

アザラシ館
アザラシのショーが行われている様子。

小学校での出張授業
子供たちが動物の飼育員と交流している様子。

飼育スタッフによる解説(こども牧場)
子供たちが動物の飼育員から話を聞いている様子。

「行動展示」の手法を用いた展示施設。動物本来の生き生きとした姿が見られます。また、小学生への出張授業や体験学習などを通じて、子供たちへ「生命」の大切さを伝える活動も行っています。

武家屋敷通り整備事業(山形県上市市)

上市市武家屋敷通りの整備状況
整備前の狭い通り。

武家屋敷の石垣を引き立てる石積み
石垣の修復作業の様子。

通りの繁栄を願っての甲冑隊の行進
甲冑隊の行進が行われている様子。

武家屋敷の石垣を引き立たせ、里山から流れくる清流を見せ、せせらぎが聞こえるよう工夫し、城下町の歴史資源を活かした整備を行いました。

一之江ひだまり公園(東京都江戸川区)

風力発電式のハイブリッド照明灯
公園内に設置された風力発電式の照明灯。

仲井堀を再現したせせらぎとピオトプ(奥)
公園内に再現された仲井堀とピオトプ。

「公園づくりワークショップ」を開催し、行政と地域が協働して整備を行いました。ピオトプ、太陽光発電、ハイブリッド照明灯など、環境面での配慮がなされた公園となっています。

三島市街中がせせらぎ事業(静岡県三島市)

源兵衛川
整備後
整備前
整備後の源兵衛川の様子。

ウォーキングツアーの開催に代表されるように、旅行者は8倍増に
ウォーキングツアーに参加している様子。

各市民団体との100回にもわたるワークショップを通じて、官民一体となって事業を展開。一般市民からは緑化が提案された。

市民主導の計画策定、目的に向けた役割分担による官民協働事業として実施されました。中心市街地の水辺や緑をネットワーク化する回遊ルートを整備し、「快適空間」を創出しています。

新しい公園づくりのカタチ「なのはな公園」(愛知県岡崎市)

地域のイベントが開催され、コミュニティの充実に貢献している。
公園内で開催されたイベントの様子。

「なのはな公園を考える会」は公園完成後、会則・作業内容要綱を制定し、「なのはな公園愛護会」による維持管理が行われている。
公園内で活動している様子。

「なのはな公園」は、岡崎市で初めて、計画から維持管理まで住民参加手法を採用し、住民と行政が協働で進めた新しいかたちの公園づくりです。

中央町三丁目地区まちなか再生事業(山口県宇部市)

材料、勾配の統一された屋根の様子
再生事業後の建物外観。

ワークショップの様子
ワークショップに参加している様子。

土地区画整理事業の開始前から一般住民を主としたワークショップを開催し、統一感のある美しいまちなみが実現し、当地区の人口の増加、地域の活性化につながっています。

萩博物館(山口県萩市)

萩博物館
博物館の外観。

NPO会員による管内ガイド
NPO会員によるガイドの様子。

萩のまち全体を博物館として捉え、更なる魅力づくりの展開と活性化を図ることを目的とした「萩まちじゅう博物館構想」の中核施設として整備されました。博物館の管理運営は、萩市民が会員である「NPO萩まちじゅう博物館」が担っています。

親水施設 台霧の瀬(大分県日田市)

筑後川
台霧の瀬 整備前
台霧の瀬 整備後
整備後の台霧の瀬の様子。

魚のつかみどり
魚のつかみどりの様子。

台霧の瀬は、民間団体による発案から、地域の自治会、公民館、水環境団体等によるプロジェクトチームを編成し、国及び市の協力体制のもとに進められ完成した施設です。誰もが自然体験出来る空間となっており、魚取り、動植物観察等幅広く活用されています。

手づくり郷土賞(地域活動部門)全12件

ニセコ花フェスタ綺羅街道(北海道ニセコ町)



植樹柵の植栽

ハンキング・樽作り

小公園の植栽

街路を、地域コミュニティの再生・活性化と新しい産業連携・産業振興を生み出す空間として捉え、綺麗街道を住民の手で活用するために、沿道の花で彩り、各種イベントを開催しています。

花の御宿の里づくり(福島県舘岩村)




地区住民による沿道花壇への花の植栽の様様

「村民花の日」での住民による沿道への花の植栽模様

花や樹木に関する調査・研究・植樹計画の策定を地域住民、行政、大学などと連携して行い、村内に花や木を植栽する環境美化運動を行うことにより人と自然にやさしい快適環境の村づくりを推進しています。

住民提案による公園の管理と希少淡水魚「イトヨ」の保護(茨城県日立市)




イトヨ

手入れの行き届いた「イトヨの里泉が森公園」

公園運営委員会会員による公園内、周辺の除草作業、花壇の手入れ

イトヨの保護をきっかけに、行政と住民のパートナーシップで親水公園の整備を行い、住民が里親となって、維持管理、イトヨの飼育、観察会等を行っています。

美しい水辺の回廊づくり(千葉県長生村)




活動の1つである年5回の草刈り

新旧住民の交流が生まれる清掃・草刈り後のハッピー

今までゴミ捨て場となっていた堰を、住民が憩える花の名所に再生させたことにより、住民の環境への意識が高まりました。地域住民の自主的な清掃活動に対しても理解者が増え、参加の輪が広がっています。

住民総出の花づくり(岐阜県中津川市)



地元自治会による苗の植え付けと維持管理

花づくり講習会による関心の高まりは、地域の話題づくりにも貢献

地元自治会が中心となり、中学生が種から育てた花の苗を各家庭に配布し、住民総出による花の植栽、植えられた花の維持管理を行っています。花づくりを通じた世代を超えての地域住民交流の貴重な機会となっています。

「やすらぎの 心が通う 四季のまち」づくり活動(愛知県新城市)



平成8年の事業認可より住民参加による都計道整備計画策定を目的に発足。

イベントでは協議会以外の住民のボランティア参加があり、地域ぐるみで取り組んでいる。

設計段階から住民参加が進められた「都市計画道路新町線」や、手づくりによるポケットパークをまちのシンボルとして位置づけ、地域活性化を目指して、住民主体でコミュニティ活動を行っています。

1級河川寝屋川の再生と市民活動・まちづくり(大阪府寝屋川市)




駅前親水空間・空石積み護岸・沈下橋・船着場

公募委員のみによるワークショップで「寝屋川再生プラン」を提案

1級河川寝屋川を魅力ある空間に再生するための「寝屋川再生プラン」を市民参画で行いました。また、駅前親水空間整備では、実施計画、工事施工段階に加え、完成後の維持管理・活用についても徹底した市民参画・協働を実現してきました。

地域通貨「フシノ」を活用した流域連携づくり(山口県山口市)



地域通貨「フシノ」


海岸清掃作業

榎野川流域フォーラム

地域通貨「フシノ」を活用して、榎野川流域の地域住民が連携を図り、豊かな自然を次世代に引き継いでいくことを目的として、河川・海岸清掃作業等のボランティア活動を行っています。

手づくり郷土賞(地域活動部門)全12件

川を活かした魅力的なまちづくりを目指して(徳島県徳島市)



新町川の清掃活動

花植え

山林の植樹活動

平成2年川を清掃することから始まった活動は、現在は、花植えや無料の遊覧船の運航なども行っており、さらに、H14.3からは、吉野川の水源地である高知県大川村で山林の植樹活動を実施するなど、その活動は県境を越え今なお広がっています。

博多湾にみんなで夢の松原を!(福岡県福岡市)



都市空間における市民の憩いの場

市民参加による松苗の植樹状況
~都市空間における『手づくりの郷土』~

1987年から、松原の復元を目指して、松の植樹が行われてきました。植樹後20年を迎え松並木は、近代建築物と一体化し、景観にも優れ、都市空間における市民の憩いの場として親しまれています。

阿南光のまちづくり事業(徳島県阿南市)



光マンダラドーム

基板連結作業

阿南市の中心市街地等の活性化及びにぎわいの創出を目的として、地域の代表的産業であるLEDを活用した光の祭典を市内各地で住民や各団体の手により実施しています。

道路清掃による村づくり(熊本県西原村)






草の積み込みや道路側溝の清掃風景

道路清掃完了状況

「村内の道路は自分たちできれいにする」を合い言葉に年2回およそ50年にもわたり道路清掃に取り組んでいます。その活動は、県道15km、村道100kmの広いエリアに及びます。

手づくり郷土賞(大賞部門) 全37件

湖畔通り(北海道虻田町)



足湯

湖畔通り

洞爺湖マラソン

虻田町の湖畔通りは、洞爺湖畔に面した遊歩道です。住民の健康づくりや憩いの場として親しまれています。また、彫刻ロードとしても定着しており、清掃等ボランティア活動もおこなわれています。

ふきだし公園(北海道京極町)






湧水口

利用状況

京極町のふきだし公園は、原生林を活かして整備されています。「名水の里きょうごくしゃっこいまつり」等のイベントを通じて広くPRし、町民はもとより、道内外から年間百万人近い人が訪れる観光地となっています。

こみせ(青森県黒石市)






こみせの現況

こみせまつりでの津軽三味線の演奏の模様

地域住民手づくりの「黒石こみせまつり」ではこみせで津軽三味線が演奏され、また、津軽こみせ(株)は1日2回津軽三味線の生演奏を無料で披露しています。

武家屋敷(秋田県仙北市)

角館町武家屋敷の現況

角館のさくらまつりの様子

武家屋敷の歴史と文化をもっと知ってもらうため、歴史的資料、文化財を紹介する「かくのだて歴史案内人組合」が結成され、角館町の魅力を伝えています。また、地域住民による「守る会」を結成し、景観の保護や、次世代の継承に努めています。

榎下宿(山形県上山市)






榎下宿(復元された大黒屋)の現況

古民家でのお話の様子
(全国街道交流会議のまち歩きにて)

地区内全戸が加入して設立された「榎下宿保存会」では、「民話の日」を開催するなど、復元された古民家を活用し、おもてなしの精神と住人としての誇りを持って「ふるさと」づくりの担い手として活動しています。

大内宿(福島県下郷町)

大内宿の現況

大内宿半夏まつりの様子

地元団体による茅葺きの技術習得や周辺の自然や文化資源の維持に努めるなどの取り組みの他、昔ながら続いている時代風俗衣装をまとった大内宿半夏まつりなどの観光イベントにより80万人を越す観光客が訪れています。

巴波川沿川家並(栃木県栃木市)






巴波川周辺の家並の様子

栃木市河川愛護会、地元住民による年3回の巴波川一斉清掃

巴波川周辺には歴史的建造物が多く、ガス灯風街灯、地場産業の粘土を使用した遊歩道、河川浄化を図るせせらぎ等を整備。市民の憩いの場となっており、活動団体による清掃活動も行われています。

足利学校・ばんな寺参道のまちなみ修景(栃木県足利市)

休日の大日大門通り

毎月第2日曜日に開催される「じけんち市」
(主催:奥の院通り研究会)

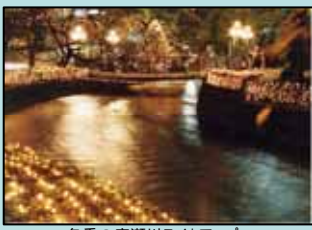
国指定史跡の足利学校、ばんな寺周辺の歴史的雰囲気を出するため、住民と行政が一体となって足利らしさをもっと出すような外観等の修景を促進。フリーマーケット(じけんち市)等も開催しています。

手づくり郷土賞(大賞部門) 全37件

広瀬川湖畔緑地緑道(群馬県前橋市)



緑道の様子と文学碑巡りツアー



冬季の広瀬川ライトアップ

水と緑の調和した水辺空間としての市民のオアシスであり、自然を活かしたゾーン、歴史を活かしたゾーン、ふるさとの小径ゾーン、ふれあいのゾーンの4つから構成され、日常の清掃、除草、花づくりは地元住民により実施しています。

防災路地緑化(東京都足立区)



緑化した路地の様子



防火貯水槽の水を活用した湧水池



定期的に行っている防災訓練

下町の人情味あふれる路地を防災のシンボルとして、また水と緑のふれあいの場として活用。自主的に行われる日常管理や消火訓練等の活動は、人々のいっそうのつながりを深める場となっています。

府中市郷土の森博物館(東京都府中市)



郷土の森への入り口



昔話・民話のお話会や紙芝居の開催

博物館、移築復元民家、緑地公園が一体的に整備されています。古民家では年中行事の再現、民話の会が、緑地公園では梅祭りや野だて茶会などのイベントが開催され市民のふるさと意識の高揚につながっています。

ライトアップ・ヨコハマ(神奈川県横浜市)



建物のライトアップ



橋もライトアップしている

市・住民・企業が共同で「ヨコハマ夜景演出事業推進協議会」を組織し、これらの建物を夜間投光(ライトアップ)によりクローズアップをして、潜在化している横浜固有の歴史的環境を再構成し、併せて夜の魅力的な都市空間の形成を図っています。

小野川周辺の町並(千葉県佐原市)



小野川周辺の歴史的町並み



観光ボランティアによる町並み案内

古い町並みと調和した町づくりを推進し、橋梁の修景、荷揚げの復元、擬木柵の設置等、古い町並みのイメージを高めるため様々な工夫を実施。活動団体による観光客の案内を行うボランティア活動等も実施しています。

小松川境川親水公園(東京都江戸川区)



「公園を愛する会」によるイベントが開催



年数回実施する清掃活動

設計段階から住民団体が参加。完成後は自治会、子どもが主体となり「愛する会」が誕生。祭りや清掃活動を実施するなどやすらぎ、ふれあいの場となっています。

お鷹の道遊歩道(東京都国分寺市)



遊歩道の様子(近くに湧水池もある)



地元の方々野菜・花・植木等を販売

湧水群は全国名水百選に選定され、貴重な自然林や湧水を提供しており、地元住民による野菜、花、植木等の販売や、清掃活動、ホタルの育成など行っています。また、市民はもちろん、市外の人々にとっても憩いの場となっています。

二ヶ領用水(宿河原線)(神奈川県川崎市)



手入れの行き届いた用水路



地元町内会等によるクリーン作戦

ウォーキングや市内の史跡巡りコースとして利用されているほか、地元小学校による環境学習の場として広く活用されています。また、地元活動団体による維持管理も行われ、河川周辺の樹齢30年ほどの桜並木の保存にも努めています。

手づくり郷土賞(大賞部門) 全37件

水無川緑地(神奈川県秦野市)



大勢の人でにぎわうオープンマーケット



里親制度により結成された多数の団体が、花の植え替え、除草、清掃等を実施

石積みの護岸、植栽や散策路が整備され、水に親しめる施設として市民に喜ばれています。近年、緑地を取り込んでの開催や市民が中心となった催しも増加しています。また、地元活動団体による花の植え替えや、清掃作業も行われています。

奈良井宿の家並み(長野県塩尻市)



伝統的建造物群保存制度により良好に保存されている家並み



江戸時代から明治初期にかけて建てられた伝統的建造物と環境を保存するため、榎川村では条例を制定するとともに、地域住民と一体となって、管理・修理・修景・復旧事業を実施しています。

高田の雁木(新潟県上越市)



地元住民によって花が飾られた雁木



雁木通りで行われる時代祭り

地域住民による「雁木づくりガイドライン」策定等の新たな活動や、シンポジウムの開催が始まり、また多数のイベント等により日常生活以外にも多くの地域住民に利用されています。

銅器のまち金屋町通り(富山県高岡市)



イベントで賑わう金屋町通り



地元住民による清掃活動状況

歴史的遺産を活用し、地域の活性化につなげようと、地域住民中心による清掃活動に加え、伝統的な町並みを活用した観光ボランティア等の新たな活動がなされています。

塩の道・三州足助の町並み(愛知県豊田市)



足助川



整備後には「万灯まつり」をはじめ、季節のイベントがおこなわれている

受賞を機に行った植栽、会報やポスターの配布、EMの配布による生活排水の浄化、河川清掃が行われ、歴史的な町並みや、環境、景観が地域ぐるみで保全されています。また、季節の各種イベントや散策道を通じて多くの観光客が訪れています。

東海道関宿の町並み(三重県亀山市)



関宿の町並み



ボランティアによる案内

受賞後においても、継続的に電柱移設や散策拠点の整備、カラー舗装等の景観整備が実施されています。加えて、町並みを形成する大部分が生活の場となっているため、地域全体での価値観の共有や協力体制とともに、景観が維持されています。

ながはま御坊表参道(滋賀県長浜市)



大通寺門前町



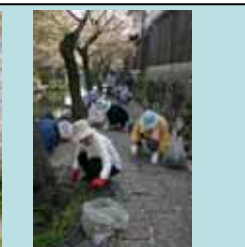
チューリップまつり

地元商店街の熱意と行政の支援により、歴史と風格を感じさせる町並みを整備。門前町としての個性を特化させながら様々なイベントを開催し、多くの観光客を迎え入れ、地域住民が誇りを持つ美しいまちへと蘇っています。

八幡堀(滋賀県近江八幡市)



春の桜



月2回の清掃活動が18年間継続

受賞を機に地域住民を主体とした「八幡堀を守る会」の発足に結びつき、重要伝統的建造物群の保存、水郷保全など周辺整備の原動力となりました。今日まで、月2回の清掃活動を中心に、歴史文化の学習、機関誌の発行などを継続的に行っています。

手づくり郷土賞(大賞部門) 全37件

五個荘金堂町(滋賀県東近江市)



新近江商人塾・商人時代絵巻行列

観光ボランティアによる町並み案内

日常的な河川清掃活動に加え、受賞後、地域住民による「ごかのしょう新近江商人塾」等のイベントや観光ボランティアによる町並み案内等と実施し、たくさんの観光客が訪れています。

雨森(滋賀県高月町)



全て住民による手づくり

郷土づくりを学ぶ団体の受け入れ

全て住民により、美しい地域づくり、水辺の保全、花飾り、鯉の放流、手づくりプランター、毎日の清掃活動などを行っています。また、当地区を参考にしたいという団体も多く、全国からの郷土づくりを学ぶ団体が訪れています。

北野町山本通(兵庫県神戸市)



北野坂インフィオーラータ

山本通

地域の景観形成道路や公園は、住民を中心にした月例クリーン作戦や、花と緑を増やす運動などにより、美しく保たれています。また、地区内で建築行為等を行う場合、「北野・山本地区をまもり、そだてる会」に事前相談をすることによって、より良好な街並みを形成しています。

土蔵造りの家並(鳥取県倉吉市)



土蔵造りの家並

「八橋往来街なみ研究会」による現地勉強会

酒蔵や醤油醸造蔵を再利用した「赤瓦」を中心に、更なる発展を目指したイベント等が行われています。また、地区住民による「八橋往来街なみ研究会」が発足し、街並みを後世まで引き継ぐための新たな動きも始まっています。

藩政時代の街並(島根県津和野町)



藩政時代の街並

スクリーンプロジェクト

藩政時代の街並は、通りの掘割りで泳ぐ錦鯉と併せて「津和野」の絶対的シンボルとなっています。また、「スクリーンプロジェクト」等による新夜景イベントも実施しています。

西川緑道公園(岡山県岡山市)



西川緑道公園

星空まつりin西川

岡山市の中心部にあり、市民グループが主催となって西川をテーマに「星空まつり」や「フリーマーケット」等のイベントが開催される等、魅力ある地域づくりに資しています。

倉敷市の伝統的街並(岡山県倉敷市)



倉敷市の街並

倉敷音楽祭

倉敷美観地区の景観の維持に貢献した方を表彰する「くらしきまちや賞」等、地域の資質向上のために様々な試みやイベントが行われ、地域づくりのきっかけとなっています。

宮島紅葉谷川庭園砂防(広島県廿日市市)



紅葉谷川庭園砂防

遠足利用状況

広島県宮島にある庭園砂防であり、観光地の一部となっています。また、地域住民をはじめ、全国からの観光客や遠足で利用する子供達の憩いの場となっています。

手づくり郷土賞(大賞部門) 全37件

一の坂川ホテル護岸(山口県山口市)



一の坂川

ホテルの放流活動

山口市の中心部にあり、小学生を中心としたホテルの放流等の環境を守る活動を展開しています。また、「ホテル鑑賞」などのイベントを通じ、地域づくりに対する住民意識の向上を図っています。

うだつと白壁の町並(徳島県美馬市)



住民参加による清掃状況

町並みボランティアガイド

ライトアップされた「うだつの町並み」

約300年の歴史を持つ「うだつの町並み」で、美馬市では官民一体となって、環境整備、保全活動など町並みを活かしたまちづくりに取り組んでいます。

殿町武家屋敷通り(大分県竹田市)



歴史を活かした街並み

秋のイベント「竹葉」竹灯籠

地域住民による清掃活動

城下町らしい歴史的街並みを日常的に地域住民の手により管理し、春、秋のイベント時のみならず、年間通じて観光客の入込みに大きく寄与しています。

美々津の歴史的町並み(宮崎県日向市)

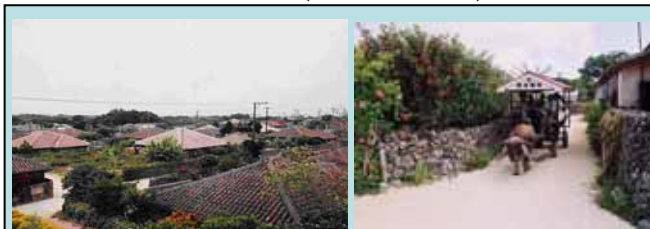


歴史を活かした街並み

伝統的建造物内でのコンサート風景

地域の伝統文化を継承していくための取り組みや、街並みを活かした各種イベントの開催・来訪者への街並み案内等の工夫、マスコミへのPR等により、来訪者も年々増加傾向にあります。

竹富町家並(沖縄県竹富町)



全景

レンタカーは一切なく、移動は水牛車等により、昔ながらの雰囲気を感じることができる。

沖縄の原風景を今も色濃く残しており、地域で竹富島憲章を制定し伝統的建造物群を守り育て、観光に活用しています。